

特集 進化する支援機器(福祉用具)

福祉機器の開発支援の現状と課題	五島清国
歩行を支援する機器	橋元 隆
排泄支援ロボット	中居義貴
認知症/コミュニケーション支援ロボット	井上剛伸
ITを活用した支援	鴨下賢一
上肢機能障害者用伝達装置	小林安之
聴覚障害者を支援する機器	大沼直紀

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 山下裕子
渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹
伊佐地隆 石松隆和
伊藤貴子 岩崎千佳
上菌紗映 生方克之
逢坂伸子 大越 満
太田秀樹 大武美保子
岡田しげひこ 乙坂佳代
加来克幸 寛 淳夫
加藤武彦 金子 寿
川越雅弘 木下康仁
桑山浩明 小林直樹
齋藤正洋 榊原次郎
座小田孝安 佐藤久夫
鈴木孝治 武原光志
玉垣 努 角町正勝
土井勝幸 野尻晋一
橋本美芽 長谷川幹
畑野栄治 半田理恵子
東川悦子 備酒伸彦
廣末ゆか 福田俊江
古屋 聡 丸山 泉
水間正澄 宮崎宏興
宮田昌司 村井千賀
村上重紀 森岡悦子
柳 尚夫 山川百合子
山口晴保 若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一
金城利雄 阪井康友
澤 俊二 野崎園子
備酒伸彦 松坂誠應
水間正澄

●編集後記

先日、当法人主催の市民公開講座を開催した折、福祉用具体験に立ち寄られた親子の姿を目にした。娘さん(20代後半)は生後1歳3カ月の時に急性脳症を患い、以来四肢麻痺となった。現在、車いすレベル。発症当時は障害を抱えさせる人生を与えてしまったという責めから県内・外を問わず、医療機関を受診し、機能回復に良いと言われるものには取り組んでこられた。しかし、外来リハ縮小の流れや、他の2人のご兄弟の生育の過程でご本人だけに時間を割くことができないといった家庭事情などから、結果的に納得できるリハの病院・施設と出会うことなく自宅が主な活動の場となっていた。ご兄弟も育ち上がった今、娘さんが少しでも社会参加でき、自立(律)した生活が送れるようにしてあげたいという思いを新たにしていると母親は切実に語られた。また、以前とは医療もリハも変わってきているだろうから県内でしっかりと取り組むことのできる病院や施設などはないだろうかと問われた。

この親子への対応であるが、① まず行政の担当窓口へ状況の説明と支援協力がどのように得られるかを確認していただくこと、② 障害者総合支援法の枠組みでニーズに合ったサービス確保の可能性の検討、③ かかりつけ医の確保、④ ロボットリハも含めた県下のリハの現状を説明し、理解を得たうえで、ご本人ご家族の納得し得るリハの提案・紹介、と課題を整理し調整に入った。

現在では地域において、疾患ごとに家族会などのネットワークが構築されており、行政も地域のニーズや時代の潮流になんらかのかたちで応えていこうとしている。しかし、今回の事例はまったくこのようなネットワークから抜け落ちた事例とも言える。さまざまな事情が重なったとしても、このような現状が存在する事実とともに、これまで地域リハの構築に携わってきた1人としては「はがゆさ」がこみ上げた。

高齢者のリハは地域包括ケア時代を迎え加速度的に支援体制が整備されている。身体障害領域では障害者総合支援法が成立され、介護保険と同様の流れにあると理解するが実際はどうなのであろうか。

障害への支援を本来のなりわいとする療法士は、障害を抱える方とともに地域に生き、支ええられている一人であるという自覚を忘れないでほしい。

編集委員 佐藤浩二

第10巻第7号[通巻112号] 2015年7月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 7月号

1部定価(本体1,800円+税)
2015年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2015, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。